

# うまい酒 米作りから

## 渡辺酒造店 古川で田植え



酒米「ひだみのり」の苗を植える  
蔵人たち＝飛騨市古川町下気多で

渡辺酒造店(飛騨市古川町壱之町)の蔵人ら従業員四十人が十七日、古川町下気多の水田で、酒米「ひだみのり」の苗を植えた。

農家の苦勞を知り、酒造りに深い思い入れを持ってほしいと初めて実施。ひだみのりは近年使われなく

なつた酒米で、二〇一五年に下気多の農家岩塚吉郎さん(六七)が再び栽培し、復活させた。

従業員たちは、岩塚さんの水田のうち約七畝に丁寧に苗を植えた。九月下旬ごろに刈り取り、来年一月から同社の酒「蓬萊もみぢ 純米吟醸 木綿搾り」の製

造に使う。古田裕一朗さん(七七)は「愛着が湧くし、できた酒を飲むのが楽しみ。酒造りにも気合が入る」と話していた。(浜崎陽介)